

「大文字の歴史」という織物をほぐし、再び、言葉紡ぐように、糸を織る、編む、結ぶといった行為によって「沈黙の記憶」を浮かびあがらせる作品を制作する呉夏枝の国内初となる待望の美術館での個展となります。本展は、「postmemory」を糸口に、彼女のルーツである韓国の民族衣装の写真作品から近年の「grandmother island」プロジェクトまで、記憶の再構築、記憶の継承の可能性を探究する呉の試みを包括的に展示します。

これまでの活動をまとめた本展は、これからの呉夏枝の活動を見る上で、見逃すことができない展覧会です。どうぞご期待下さい。

— 略歴 —

1976年大阪府生まれ。
現在、日本とオーストラリアを拠点に活動。
2012年京都市立芸術大学美術研究科博士課程研究領域染織 修了 博士(美術)
近年の主な展覧会：2018年「東アジア文化都市2018金沢 変容する家」金沢市内各所(石川)、2017-2018年「交わるいと『あいだ』をひろく術として」広島市現代美術館(広島)、2017年「―仮想の島― grandmother island 第一章」MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pls.w (京都)ほか



(彼女の見つめる風景) 2008年 撮影：藤場美穂

— 関連プログラム —

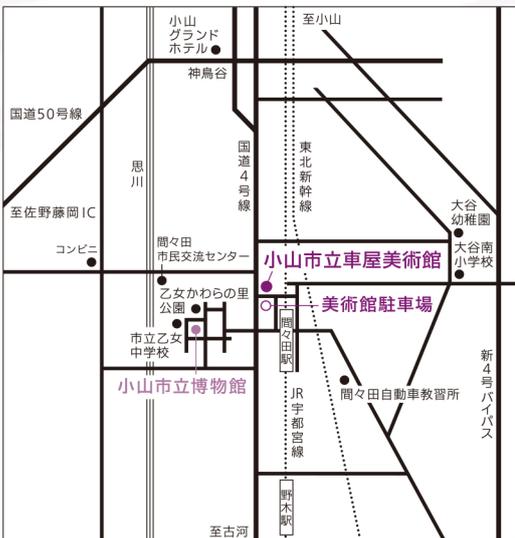
- 1 オープニングセレモニーとアーティストトーク
日時：10月12日(土) 14時
会場：車屋美術館 ※誰でもご参加いただけます。(予約不要)
- 2 トーク「ヒューマン・フォーム(人の営みの形)としての現代美術の在り方」
日時：11月9日(土) 13時30分
登壇者：飯田志保子(あいちトリエンナーレ2019チーフ・キュレーター)、呉夏枝
会場：小山市立博物館体験学習室(栃木県小山市乙女1-31-7)
定員：50名(要申込)
参加費：無料
- 3 体験「ひもづくりからはじまる身ぶり」
近年、呉は数本の棒と自身の身体を使って布を織る、原初的な織りの方法を使って制作をしています。本展では、その方法を体験する場所を設けます。美術館スタッフとボランティアが体験の手助けをします。
日時：会期中毎日 10時〜12時、13時30分〜15時30分
会場：車屋美術館小川家住宅
材料費：100円 ※予約不要、当日受付でお申し出ください。
- 4 勉強会「アート・メディアエーションの現在」
日時：11月12日(火) 13時30分
登壇者：天野太郎(札幌国際芸術祭2020総括ディレクター、横浜市民ギャラリーあざみ野主席学芸員)
会場：小山市立博物館視聴覚室
定員：20名(要申込)
参加費：無料
- 5 学芸員によるギャラリートーク
日時：11月16日(土)、12月7日(土) 14時
会場：車屋美術館展示室
参加費：無料(要観覧券) ※予約不要

— ご案内 —

- 呉夏枝が参加する展覧会
「アートセンターをひらく 第二期」
会期：2019年10月26日(土)〜2020年1月26日(日)
会場：水戸芸術館現代美術ギャラリー(水戸市五軒町1-6-8)
電話：0292278120
- おやまミュージアム割引
「第72回企画展 小山藩主 本多正純」
会期：2019年10月26日(土)〜12月1日(日)
会場：小山市立博物館
電話：0285455331

— 交通のご案内 —

- 電車 JR宇都宮線 間々田駅西口より徒歩5分
(間々田駅までは上野駅からJR東北本線で70分、新宿駅からJR湘南新宿ラインで72分)
東北自動車道佐野藤岡ICより
国道50号経由↓国道4号東京方面へ約26km
首都圏中央連絡自動車道五霞ICより
新4号経由↓国道4号宇都宮方面へ約10km
小山駅より約8km
- 自動車



(―仮想の島― grandmother island 第一章「海図」) 2017年 撮影：牧野和馬

